

2020年12月期 決算説明

サイオス株式会社
(東証二部：3744)

2021年2月3日

目次

-
- I 2020年12月期 業績の概要**
 - II 2020年12月期 業績の振り返り**
 - III 中期経営計画および通期業績予想**



2020年12月期 業績の概要

2020年12月期 業績 (連結)



(単位：百万円)

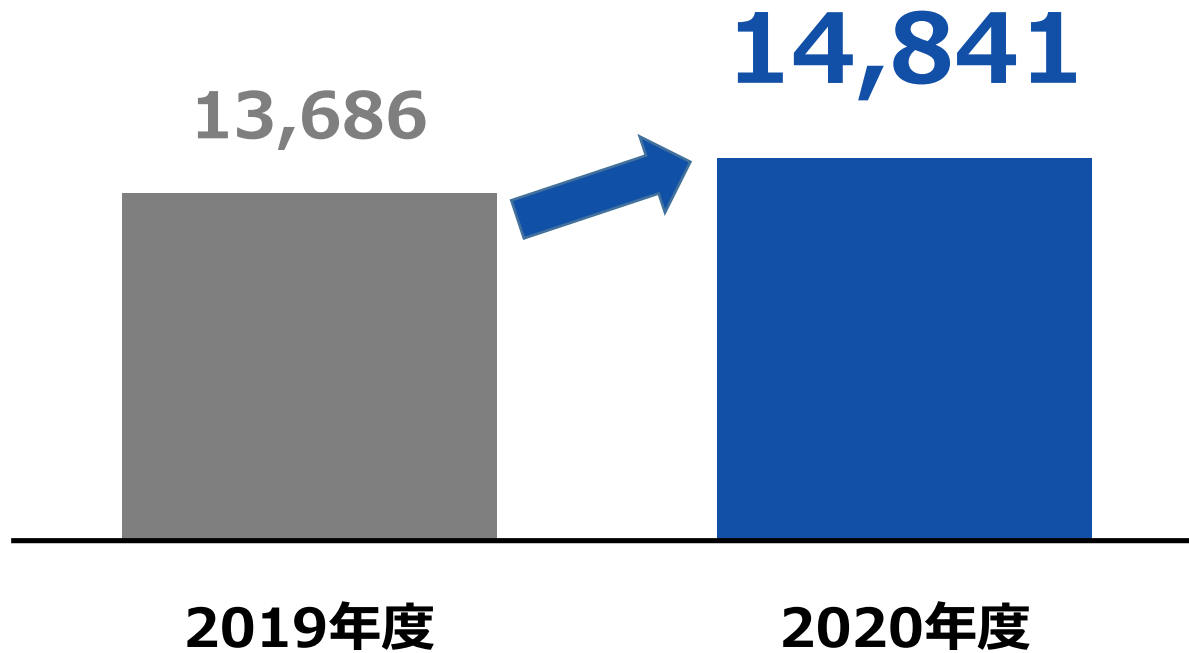
	2019年12月期	2020年12月期	差額	前年同期比
売上高	13,686	14,841	+ 1,154	+ 8.4%
売上総利益	4,345	4,465	+ 119	+ 2.8%
営業利益	54	236	+ 181	+ 329.9%
経常利益	96	256	+ 160	+ 166.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	32	310	+ 277	+ 858.4%
EBITDA	145	329	+ 184	+ 127.0%
ROIC	1.7%	6.9%	—	—

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本+有利子負債)

連結売上高

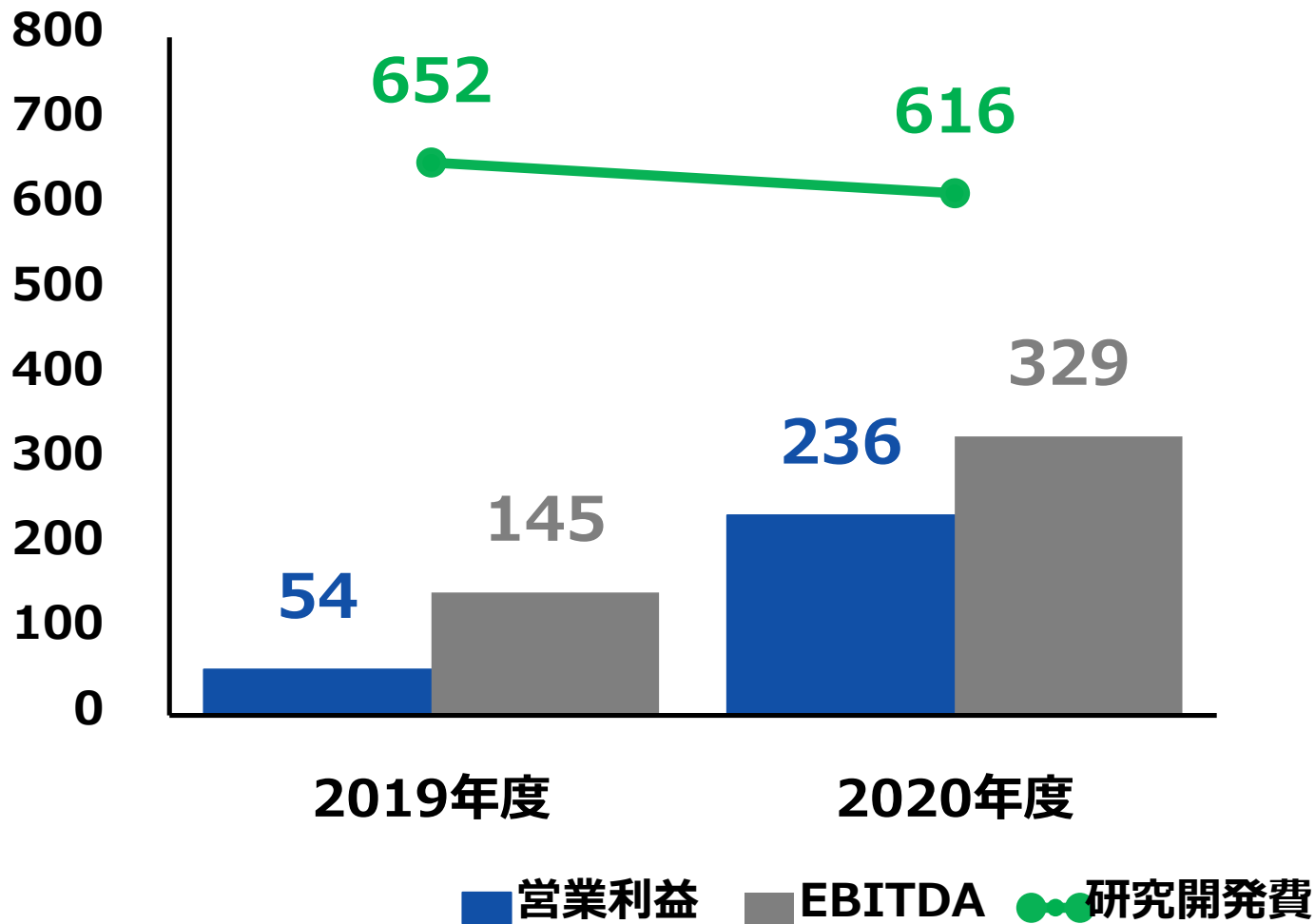
(単位：百万円)



過去最高
を更新
(8.4%増)

連結営業利益・EBITDA及び研究開発費

(単位：百万円)



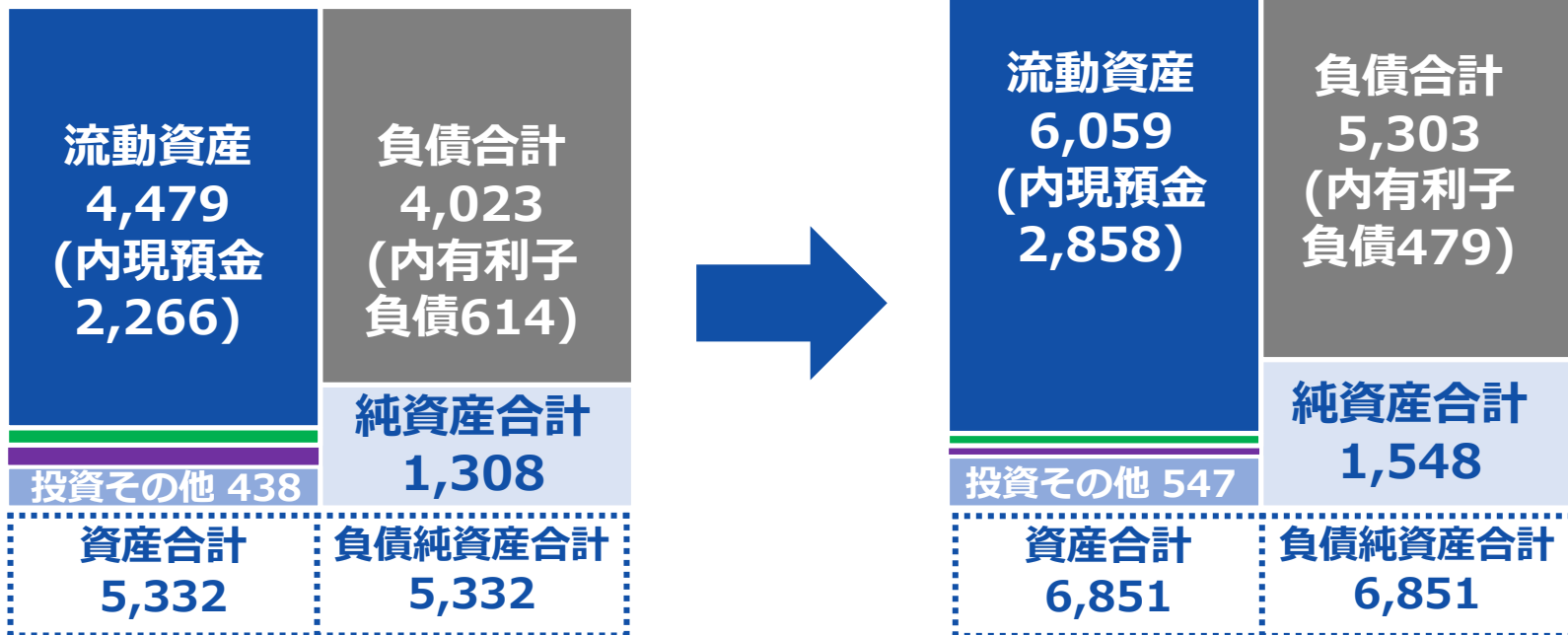
- 営業利益は前年同期比
181百万円増加
- EBITDAは前年同期比
184百万円増加

貸借対照表 (連結)

(単位：百万円)

2019年12月31日

2020年12月31日

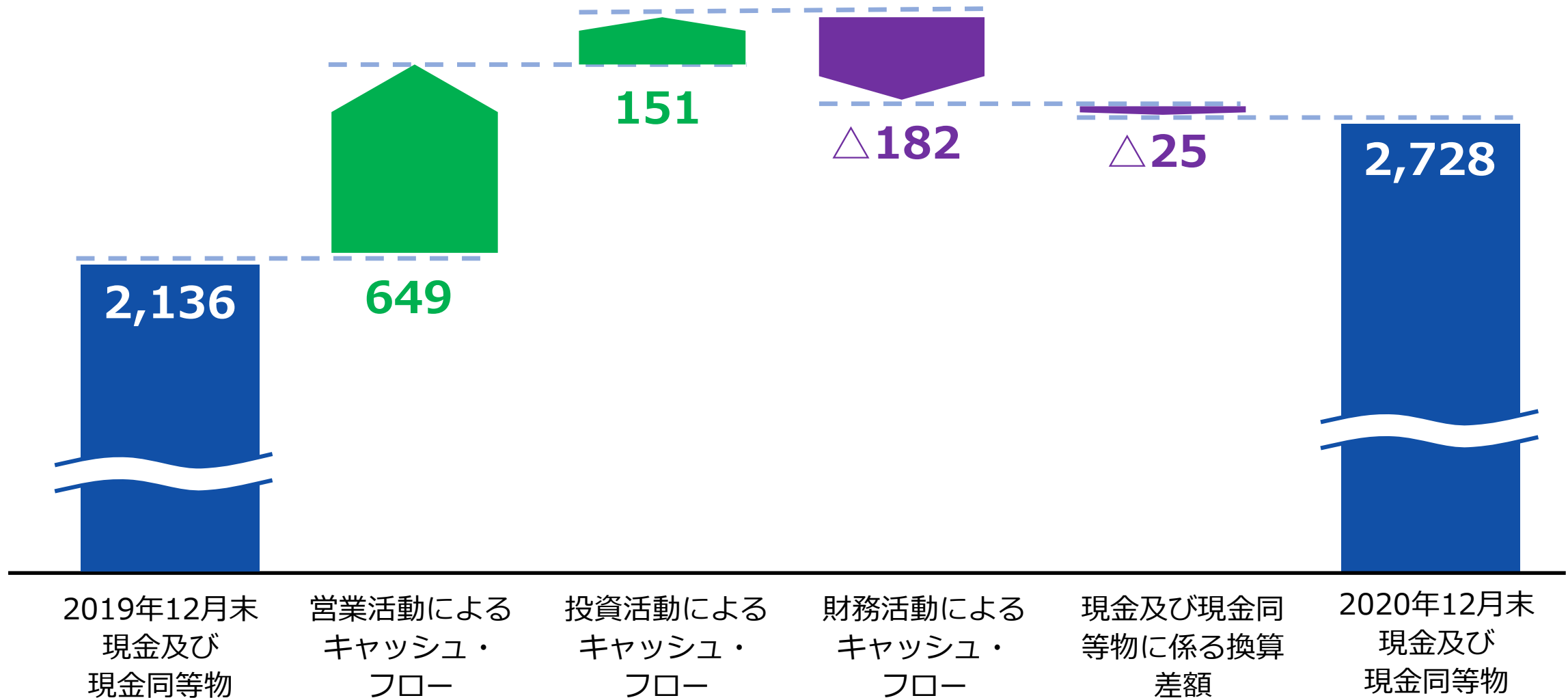


■ 有形固定資産 186 ■ 無形固定資産 226 ■ 有形固定資産 131 ■ 無形固定資産 112

- **流動資産**：現金及び預金592百万円**増加**
受取手形及び売掛金556百万円**増加**
- **流動負債**：買掛金988百万円**増加**
前受金228百万円**増加**

キャッシュ・フロー（連結）

(単位：百万円)



キャッシュ・フロー変動要因

(単位：百万円)

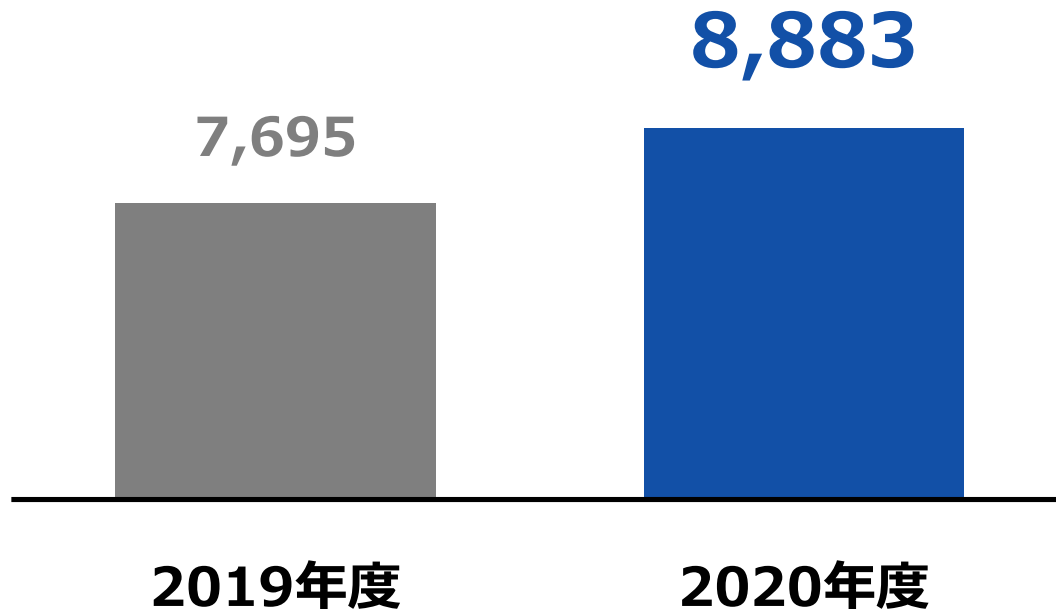
	営業キャッシュ・フロー	投資キャッシュ・フロー	財務キャッシュ・フロー
金額	+ 649百万円	+ 151百万円	△ 182百万円
主な項目	(+)税金等調整前四半期純利益 409百万円増加 (△)売上債権 578百万円増加 (△)たな卸資産 468百万円増加 (+)仕入債務 988百万円増加 (+)前受金 256百万円増加	(△)関係会社株式の取得 89百万円 (+)事業譲渡 329百万円	(△)長期借入金返済 132百万円 (△)配当金の支払 42百万円

オープンシステム基盤事業

売上高

8,883百万円（前年同期比 15.4%増）

（単位：百万円）



- 主力自社製品「LifeKeeper*」の国内向け販売及びRed Hat, Inc. 関連商品*は、案件の一部を前倒し受注したこと、複数の大型案件を新規に受注したことにより**好調な増収**
- OSS*関連商品は**好調な増収**

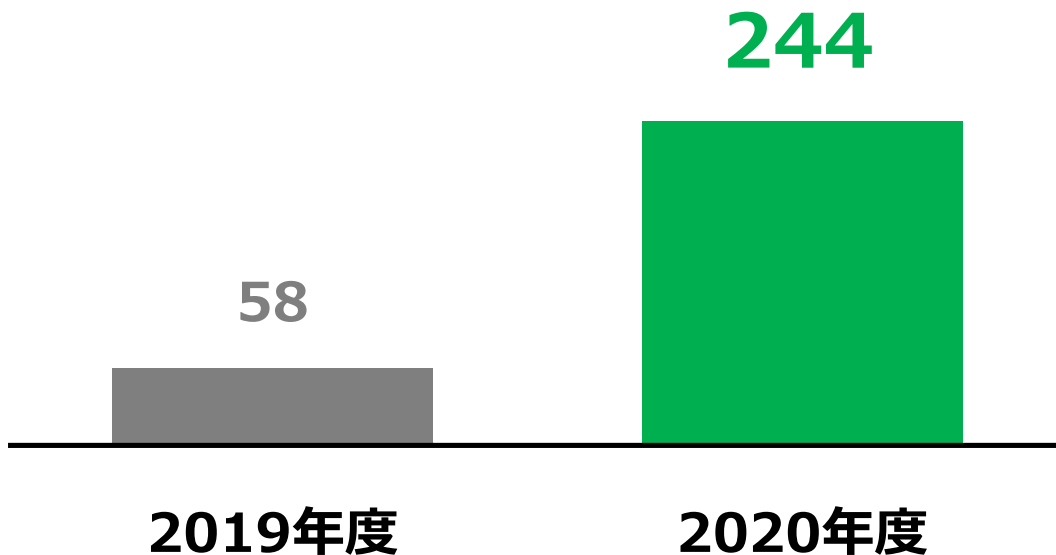
※「*」を付した用語につきましては、30ページに注釈を記載

オープンシステム基盤事業

セグメント利益

244百万円（前年同期比 314.2%増）

（単位：百万円）



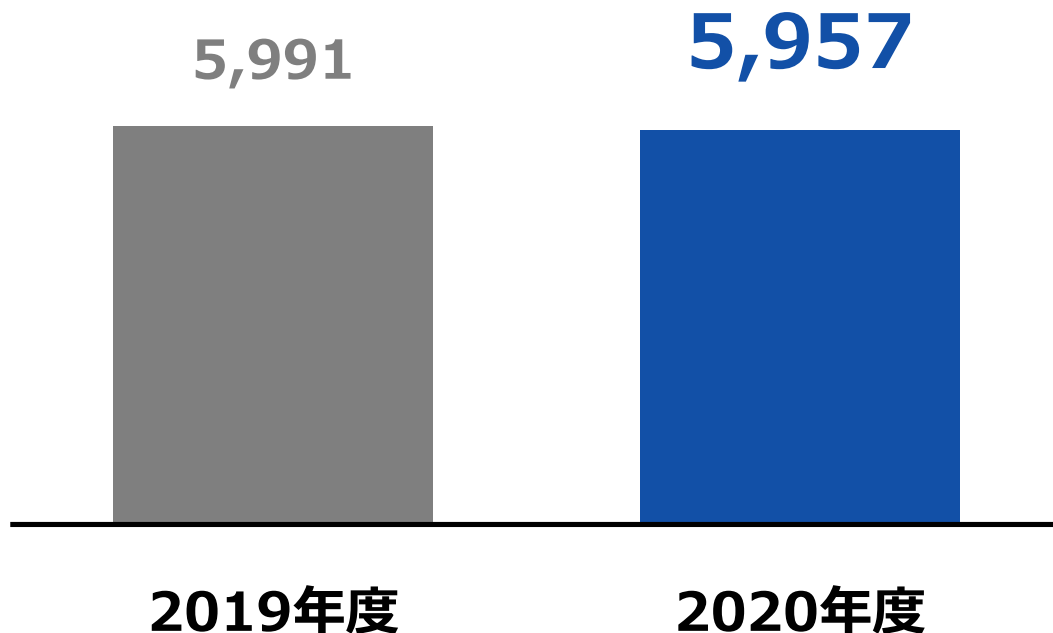
- オープンシステム基盤事業の売上高が好調な増収となったことにより**増益**

アプリケーション事業

売上高

5,957百万円（前年同期比 0.6%減）

（単位：百万円）



- システム開発・構築支援は、教育機関など文教向けを中心に**好調な増収**
- 主力自社製品のMFP向けソフトウェア*製品は、サブスクリプション*販売への移行が進んだ影響により**減収**

セグメント利益

△8百万円（前年同期は4百万円の損失）

（単位：百万円）

- 文教向けシステム開発・構築支援等の増収、金融機関向けシステム開発・構築支援において前期に発生していた不採算案件の影響等がなくなったことにより**増益**
- MFP向けソフトウェア製品の減収による影響で**減益**

△ 4

2019年度

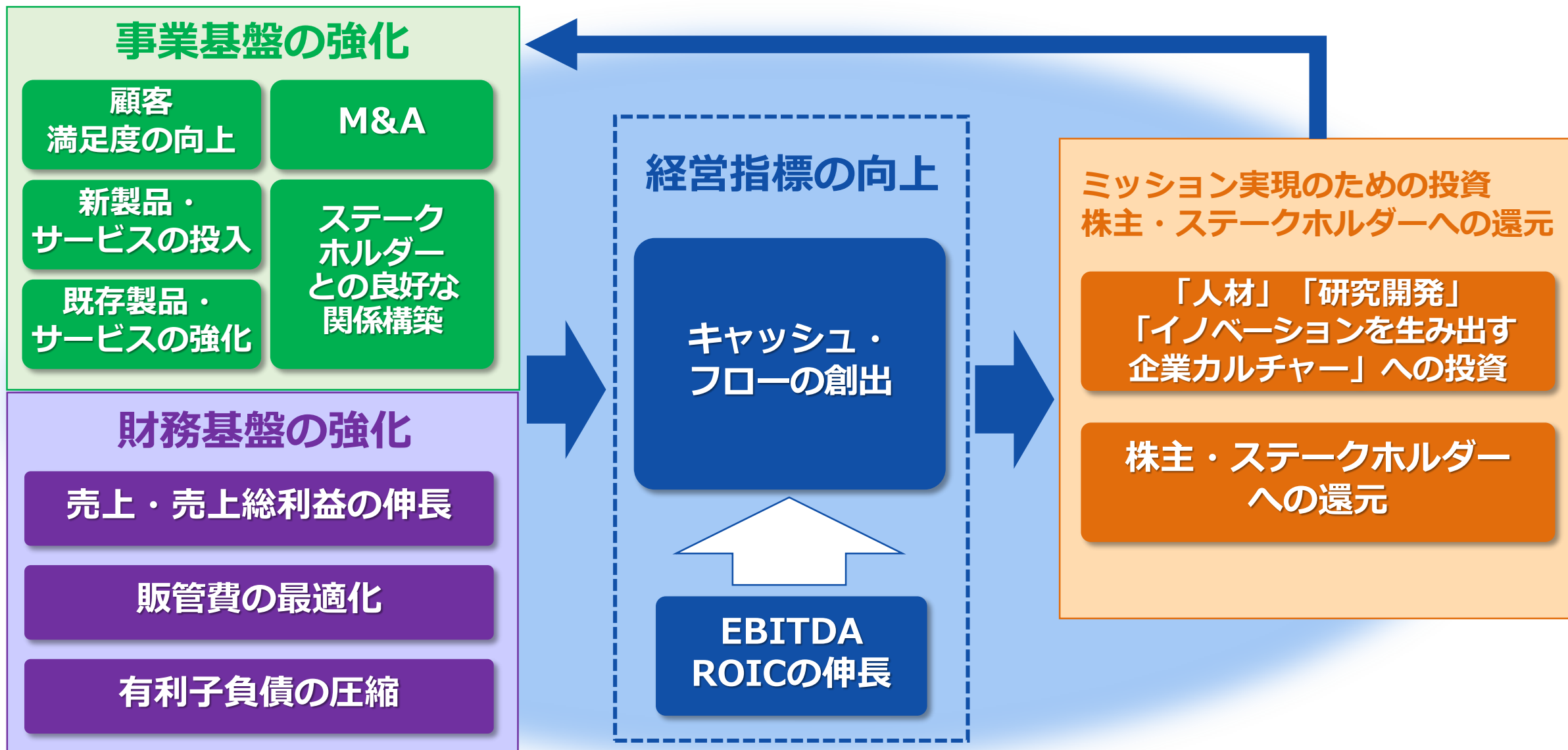
△ 8

2020年度

Ⅱ

2020年12月期 業績の振り返り

当社のミッションの実現のために



2020年12月期の振り返り①

新製品・
サービスの投入

分散オープンソースデータベース
「Apache Cassandra」*の商用利用に関する
サポートサービス開始

ステークホルダー
との良好な
関係構築

Shibboleth Identity Provider*用
ワンタイムパスワードモジュールを
OSSとして無償公開、OSSの普及に貢献

有利子負債
の圧縮

借入金の返済1.3億円

2020年12月期の振り返り②

「人材」「研究開発」
「イノベーションを生み
出す企業カルチャー」
への投資

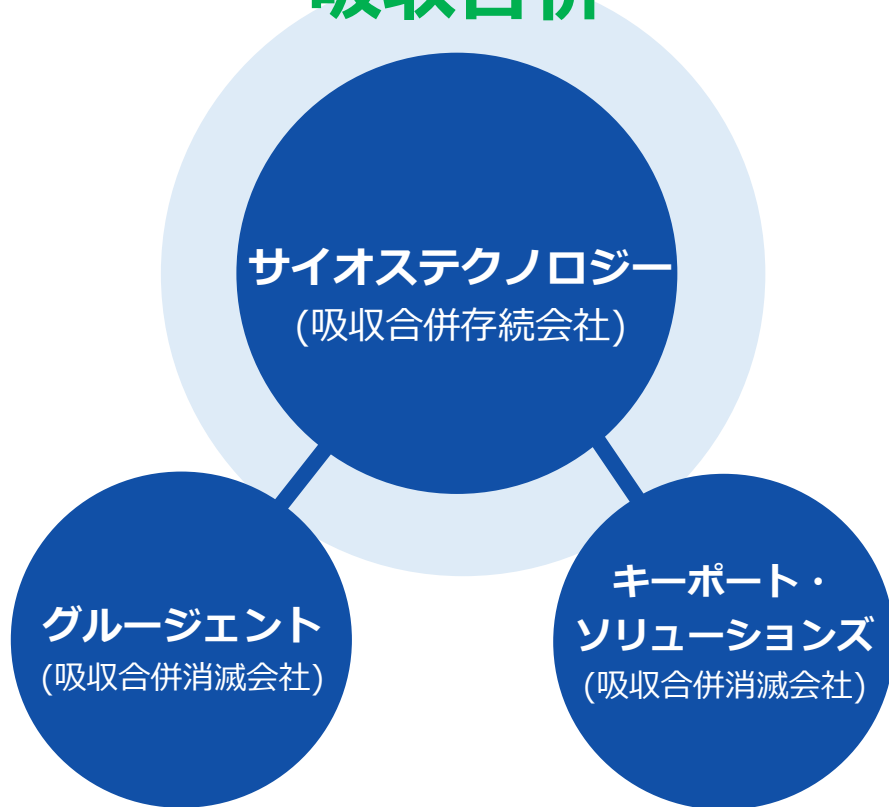
- 2020年10月1日より、サイオス(株)及びサイオステクノロジー(株)は定年制を廃止
- SIOS Technology Corp.のサウスカロライナ州R&Dセンターが、2020 Best Places To Work in South Carolina*に選定

株主・ステークホルダー
への還元

1株当たり10円の配当を予定

連結子会社間の合併

2020年10月1日 ✨
吸収合併



さらなる業務効率化と生産性向上を図るために、
新たな挑戦に向けて、

1. グループ経営体制の刷新
2. 製品・サービスのクロスセリング機会の拡大
3. 変化に強い自立分散型組織の確立

を軸とする構造改革を着実に遂行し、持続的な
成長を目指す。

Ⅲ

中期経営計画および通期業績予想

基本方針と経営指標

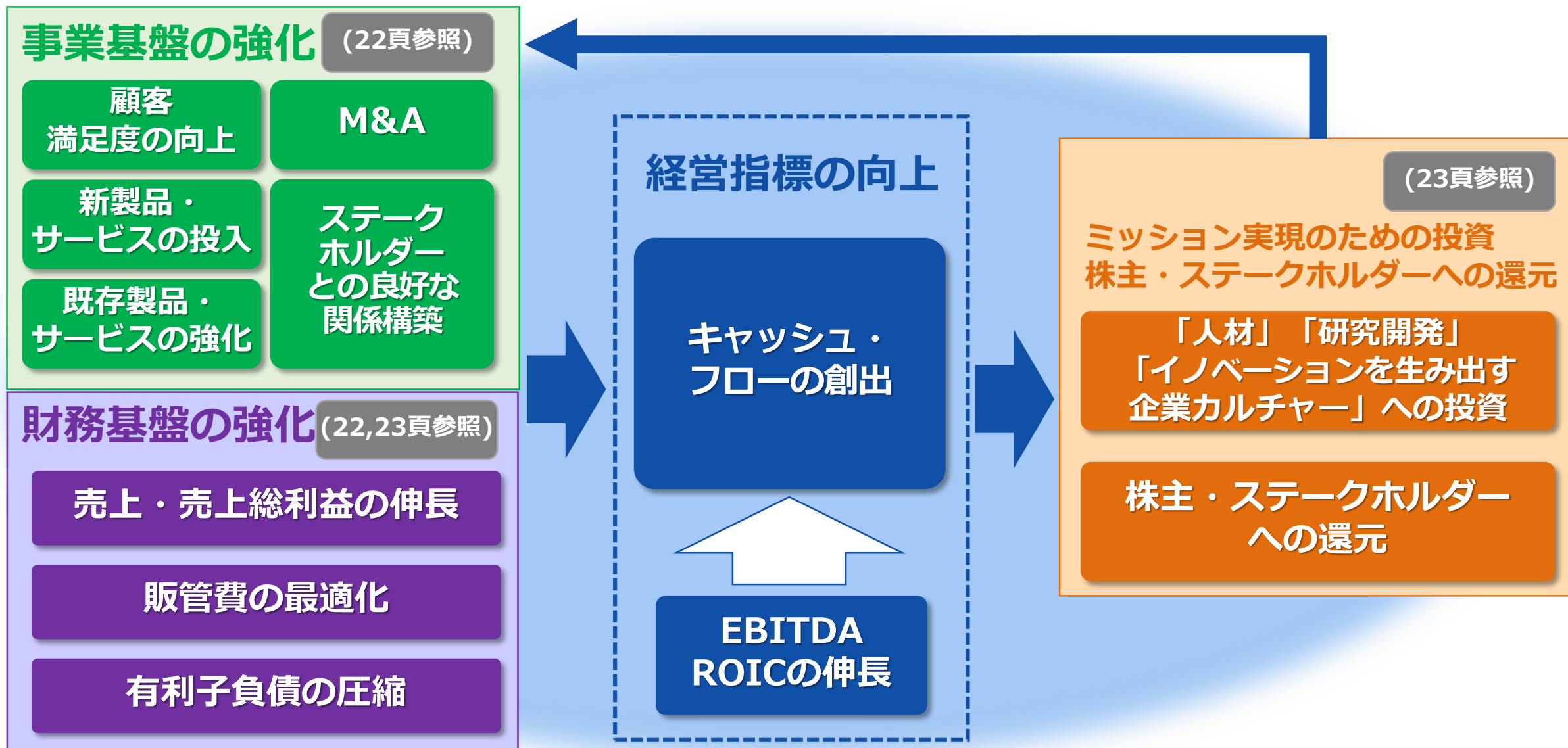
会社経営の基本方針

当社グループは、「**世界中の人々のために、不可能を可能に。**」をミッションと定め、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献することを経営の基本方針としています。

目標とする経営指標

当社グループは、継続的なキャッシュ・フローの創出のため、**EBITDA**及び**ROIC**を経営指標としています。キャッシュ・フローは、当社グループ成長のための源泉（Driving Force）である「人材」「研究開発」「イノベーションを生み出す企業カルチャー」への投資、及び株主・ステークホルダーへの還元の出発点とし、これらの活動を通じて経営の基本方針の実現を目指します。

当社のミッションの実現のために（2021年度）



2021年12月期の重点戦略①

既存製品・
サービスの強化

顧客のDX*投資に資するクラウド関連製品の強化

- 「LifeKeeper」のクラウド対応強化
- 「Gluegentシリーズ」の販売強化
- 大学など学校法人へのクラウド導入支援強化

販管費の最適化

2021年4月1日、サイオステクノロジー(株)を吸収合併存続会社として、Profit Cube(株)を吸収合併消滅会社とする吸収合併を予定。
製品・サービスのクロスセリング機会の拡大とグループ経営体制の強化により、さらなる業務効率化と生産性向上を図る。

2021年12月期の重点戦略②

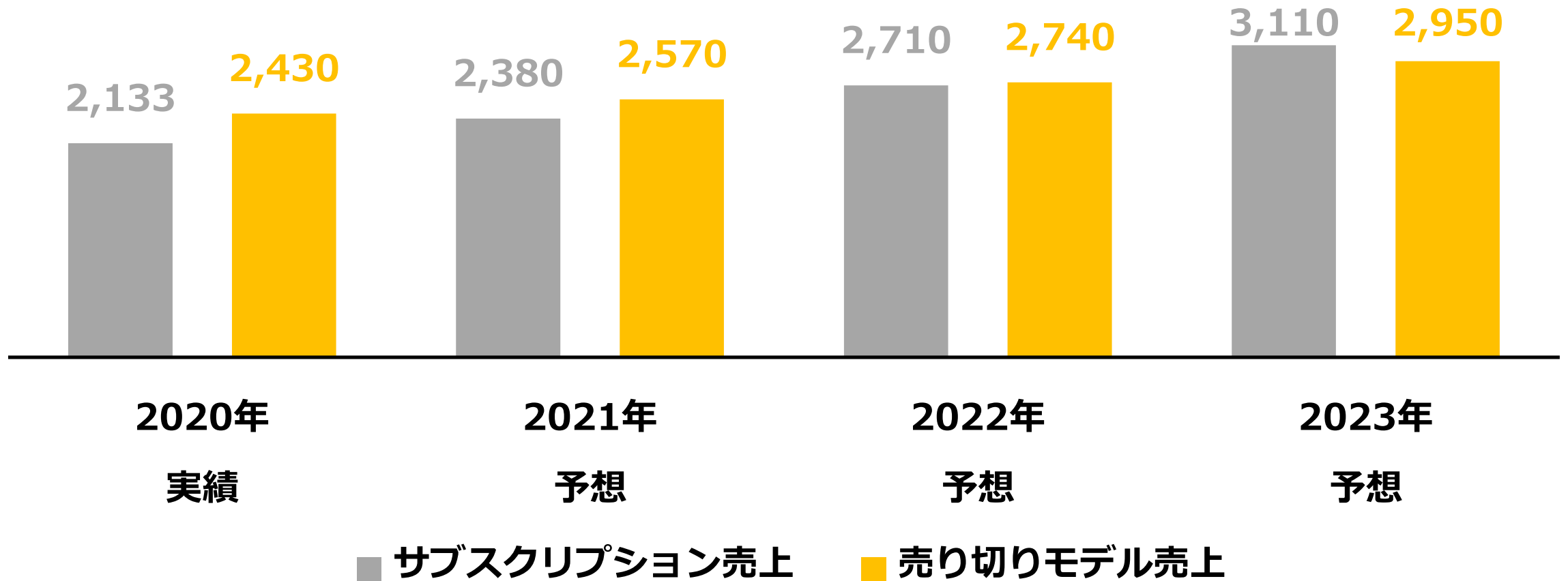
販管費の最適化

リモートワーク体制への移行に伴い
プラチナタワーオフィス(東京都港区)を廃止
販管費を圧縮

**株主
ステークホルダー
への還元**

1株当たり10円の配当を継続予定

サブスクリプションの売上は概ね想定通りの進捗



中期経営計画（2021-2023年度）

DX投資の加速によるクラウド関連事業の伸長を好機とし
2023年 EBITDA 7.7億円、ROIC 16.8%を目指す

(単位：百万円)

	2020	2021	2022	2023
EBITDA	329	410	580	770
ROIC	6.9%	9.2%	13.4%	16.8%

2021年12月期 通期業績予想

11期連続の増収となる売上高155億円を計画

	2020年12月期 実績	2021年12月期 業績予想	差額	(単位：百万円) 前年同期比
売上高	14,841	15,500	+ 658	+ 4.4%
営業利益	236	320	+ 83	+ 35.5%
経常利益	256	350	+ 93	+ 36.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	310	250	△ 60	△ 19.4%
EBITDA	329	410	+ 80	+ 24.4%
ROIC	6.9%	9.2%	—	—

2020年12月期および次期の配当

	第23期 2019年12月期 (前期)	第24期 2020年12月期 (当期)	第25期 2021年12月期 (次期予想)
年間配当	5円	10円	10円

当期配当
(2020年12月期)

1株当たり10円の配当(増配)を実施

次期配当予想
(2021年12月期)

1株当たり10円の配当を予定

Appendix

サイオス株式会社について



SIOS is Innovative Open Solutions

本社	東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル
資本金	1,481百万円
設立	1997年5月23日
社員数	連結454名（2020年12月31日現在）
主な 連結 子会社	サイオステクノロジー（株） SIOS Technology Corp. <米国> Profit Cube（株）

当社は、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェア、AI、クラウド、金融技術に卓越した強みを有するテクノロジー企業群を子会社に持つ東証二部上場の持株会社です。

「世界中の人々のために、不可能を可能に。」をグループミッションに、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献してまいります。



用語集

頁	用語	説明
10	LifeKeeper	本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。
10	Red Hat, Inc.関連商品	オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するオープンソースの製品。
10	OSS (オープンソースソフトウェア)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
12	MFP向けソフトウェア	プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。
12	サブスクリプション	ソフトウェア等の製品・サービスの提供に対して、定期的に定額課金または従量課金するモデル。
16	Apache Cassandra	Facebook社において大規模データの格納のために開発されたオープンソースの分散データベース管理システム。
16	Shibboleth Identity Provider	シボレス・アイデンティティ・プロバイダ。組織内および組織を超えてWeb上でフェデレーション・シングルサインオン(SSO)を実現するオープンソースソフトウェア。
17	Best Places To Work in South Carolina	従業員のフィードバックを組織に提供するための調査を行い、最も優れた雇用主を選定して表彰する調査・表彰プログラム。サウスカロライナ商工会議所およびSC Biz NewsとBest Companies Groupが連携している。
22	DX (デジタルトランスフォーメーション)	企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本件に関するお問い合わせ

サイオス株式会社 IR担当

Tel : 03-6401-5125 (直通)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

https://mk.sios.com/SIOS_Inquiry.html



SIOS